

## パブリックコメント実施結果調書

案件の名称	(仮称) 太田市外三町広域斎場整備基本計画(素案)について				
実施担当部署	住民経済	部	住民	課	内線 534
意見等の募集期間	令和3年12月10日から令和4年1月11日まで				
意見等の受付件数	3件	1人	(郵便 人・FAX 人・E-Mail 1人・持参 人)		

## 1 いただいた「ご意見等」・「町の考え方」の内容

番号	ご意見等の箇所	提出いただいたご意見等の概要	町の考え方
1	11ページ IV.施設整備の基本方針	新斎場の供用期間がわからない。何年間の供用を想定しているのか？	所得税法上の減価償却資産における斎場の耐用年数については、明記していませんが、鉄筋コンクリート造の耐用年数は50年としております。新斎場については、設計が未着手のため、施設の構造等も含め詳細が決定していませんが、必要に応じて修繕や大規模改修等を行うことで、50年程度の使用にも耐えるものを現時点では想定しております。
2	21ページ VI.事業費と経常費	ライフサイクルコストを示していただきたい。	整備基本計画(素案)では、主に建設地など施設の配置計画についての検討を行いました。建物の企画・設計、建設、運用・修繕を経て、建築物としての役割を終えるまでにかかるすべての経費である「ライフサイクルコスト」に関しては、設計が未着手のため、施設の詳細が決定していないこと、また、大規模改修のコストが葬送行為の変化等により予測がしにくいことなどから、現段階では算出することが困難であります。今後、設計を検討する際には、「ライフサイクルコスト」を意識し進めてまいります。
3	全般	ピーク期を想定した施設整備となっているが、ピーク期以外の施設供用期間の方が長いと想定する。ピーク期前、ピーク期後の施設運営をどの様に考えているのか示していただきたい。	火葬炉の回転数は、1日当たり一基2回転程度を想定しますが、死亡者数のピーク期においては、2.5回転を想定し、過剰な炉数とならないよう規模算定を行っております。現在、専門機関にて公表している死亡者数の将来推計値は、令和27年までとなりますが、その後も死亡者数の減少幅は当面の間小さいと考えられ、ピークは一定期間続くものと推測されます。将来、特に大規模改修を検討する際には、死亡者数の推移や葬送行為の変化等に対応するなど適正な施設運営を図ってまいります。

## 2 いただいたご意見等に基づき、素案を修正した内容

番号	ご意見等の箇所	変更前	変更後	変更した理由
		変更はございません		

### 「パブリックコメント手続」に関するお問い合わせ先

大泉町役場	住民経済部	住民課	住民係
〒370-0595	住所: 大泉町日の出55番1号		1階 1番 窓口
電話:	0276-63-3111	(内線534)	ファクシミリ 0276-63-3921
電子メール:	<a href="mailto:jumin@town.oizumi.gunma.jp">jumin@town.oizumi.gunma.jp</a>		